

知事コメント

令和4年7/11(月)

沖縄県では、これまで身につけた感染対策を定着させるよう呼びかけてきたところですが、新規陽性者数は、7月5日から6日連続で2,000人を超えており、本日(7/11)は前週比約1.4倍の943人が確認されております。

感染拡大の要因として、オミクロン株「BA.5」への置き換わりが進んでいること、また、行事など、県民の皆さまが多くの方と交流する機会が増えていることも、感染拡大の要因と考えられます。

感染は、地域別でも県内全圏域において、また年齢階級別でも、全年代において広がっています。

病床使用率は、7月11日時点で県全体56.1%、本島圏域61.0%、八重山圏域72.7%と、入院調整に困難が生じる水準とされる60%を超えており、特に、八重山圏域は重点医療機関が一部診療制限を行うなど、圏域内の医療提供体制には負荷が生じています。

また、医療機関においては、非コロナ病床使用率も95.8%と非常に高く、医療従事者の休職者数も500名以上となっており、このままですと、救急医療を維持できない状態となりかねません。

そのため、本日の対策本部会議において、本島及び八重山圏域に対して「コロナ感染拡大警報」を発出することを決定致しました。対策期間は7月11日から7月24日までの2週間とします。

本島及び八重山圏域にお住まいの皆さまは、感染拡大を防ぎ、医療提供体制を守るため、

- ① 人が集まる場所では、マスクを着用し、換気をする。
- ② 友人の部屋など、狭い空間での長時間にわたる密集を避ける。
- ③ 発熱、のどの痛みなどの症状を認めるときは、外出を自粛する。
症状が現れた日から7日間は、重症化リスクの高い人と会うのを避ける。
- ④ 重症化予防のため、ワクチンを積極的に接種し、特に高齢者や基礎疾患を有する方は、ワクチンの4回目接種を検討する。

以上の感染対策を徹底し、感染拡大及び医療ひっ迫を防ぎましょう。

また、みんなで救急医療を守るため、救急車の適正利用を心がけ、救急でない場合は救急受診をせず、日中に発熱外来を受診しましょう。夜間、休日に急な子どもの病気対処に迷う場合は、小児救急電話相談#8000番へご相談下さい。

併せて、夏までの取組みについてのお願いです。県内では過去2年間、連休後に感染が拡大しております。夏の流行拡大を最小限に抑えるため、次の対策を行って下さい。

まず1点目として、ワクチン接種をお願いします。ワクチン接種により発症予防・重症化予防の効果が報告されています。ワクチン接種を最新の状態にするよう、ご協力をお願いします。

60歳以上や基礎疾患を有する方は、4回目接種をお願いします。

2点目としては、これまで身につけた感染対策を心がけて下さい。3密を避け、健康アプリ活用等、体調管理に気を配りましょう。こまめな換気の徹底、会話の場面ではマスクを着用しましょう。

また、子どもが集まる場面では、感染対策が緩まないよう、大人が気を配りましょう。

3点目は、発熱、のどの痛み、咳、鼻水等、少しでも体調不良を認める際には、外出は控えましょう。まずはかかりつけ医に相談し、相談する医療機関に迷う場合、県コールセンター電話番号098-866-2129へご連絡ください。

4点目は、県民一人ひとりが会食による感染リスクを認識しましょう。会食や友人との交流では「感染防止対策認証店」を利用し、できるだけ大人数、長時間の集まりは控えて下さい。

また、ビーチパーティ等、不特定多数の方と会食した際、1週間程度、高齢者等の重症化リスクの高い方と会うのは控えましょう。

最後に、県外からの来訪者の皆さまへのお願いです。

沖縄へ旅行や帰省等で訪問を予定されている皆さまは、来県前に十分な健康観察と感染対策を徹底した上でお越し下さい。

また、事前にワクチン接種を最新の状態に完了するか、PCR等

検査で陰性を確認してからお越し頂くよう、お願いします。

夏のイベント等、多くの人が集まる場所では、感染リスクが高まります。これまで身につけた感染対策を徹底し、ご自身と大切な方を守るため、コロナにうつらない、うつさない意識を心がけ、連休後の感染拡大防止に県民一丸となって取り組みましょう。